

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フレンジー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.560	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：FRENZY

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：Lev RG Response

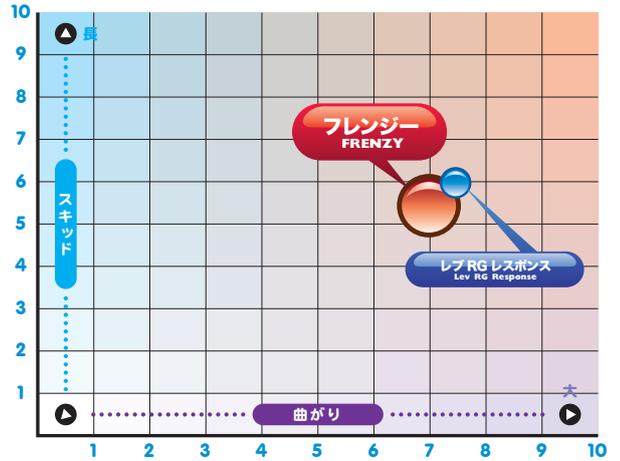
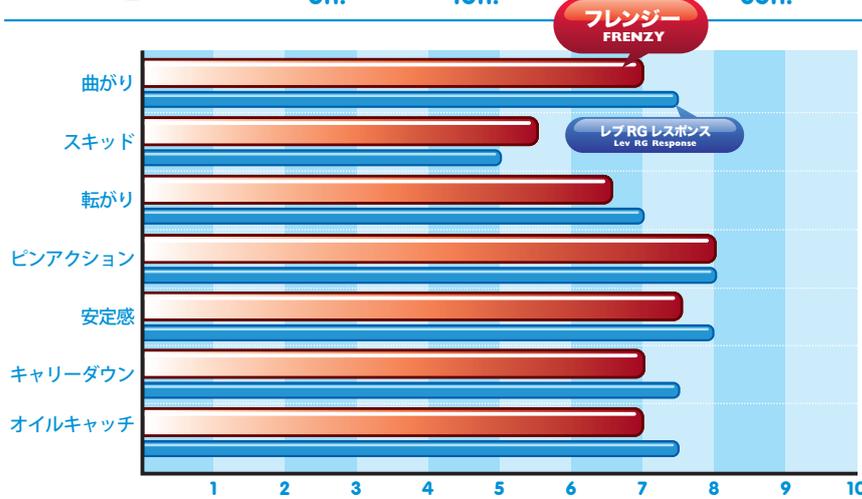
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ラベージのDual Flip Blockコア、オーサムシリーズ Vanguardコア、Lev RGシリーズのEZ Revコア。最先端テクノロジーで数多くの画期的コアシステムを提供し続けてきたモーリッチ社。今年のラスベガスで行われたBowLEXPOで新しいコアテクノロジー "AWAKENING" Asymmetrical Core designのボール FRENZYが発表されました。

今までと違うのは、シンプルなデザインである非対称コアでスピントイムが6.8秒、マスバイアス差異0.011。今まで最高値であったインテンスLev RGのスピントイム4.7秒、マスバイアス差異0.036と比べ、はるかに数値を下げ軸移動を遅らせるためのコア設定なのかを読み取ることができます。その新しいコアシステム生かす為に採用されたカバーストックのRebound Reactive Pearlは、ミディアムコンディションを中心とし、スキッドの確保とドライゾーンでの反応を生かす為に配合されたものです。

私が感じたFRENZYの性能は、大きく外に出して投球するラインを好むボールではなく、オイルと投球で削られた"際"のラインにマッチしやすく、大会等のコンディションで中目の絞った中途半端な外向きの投球ラインでは絶妙な性能を発揮してくれます。

ボールのパフォーマンスが上がり、中目のオイルが濃くなる傾向である現在のコンディションでは、変化の過程でどうしてもそのようなラインへ入らなければならないでしょう。そのようなラインを対処すべく"スペシャル"なボールがこのFRENZYです。ピンアクションも低く厚手で、特に薄めのヒットにはかき回すアクションが良く見られます。その点をとっても中目のタイトなライン向きで、ピンアクション勝負に持ち込めるボールとも言えるでしょう

特記事項

コアデザインを一新し、独特な早めの軸移動からレイトリアクションへ。幅を取るイメージではなく、"際を"極めるスペシャルな性能のボールです。